

《非常事態》揭示！ 過剰な注意喚起は明らかにパワハラ・ 人格否定であり、人権侵害の「見えな い暴力」だ！！

過日、大阪第二運輸所に《非常事態》なる揭示が出されました。

「もう他人事ではない！」「連帯責任だ！」と全乗務員への恫喝は、職場環境が悪化し乗務員は萎縮し、更にミスを生じさせるなど逆効果としか言えません。

ミスした乗務員を見せしめのために、さらし者にする《非常事態》揭示でしかなく、即刻、剥がすべきです。

また、乗務点呼の諮問は余計なプレッシャーを与え事故を生じさせる危険あり、退出点呼時の諮問はどんなメリットがあるのか？無事故でお疲れ様のところに諮問をする事は、どう考えてもおかしい！

《非常事態》揭示と諮問は、注意喚起と言えず、所長・管理者の自己保身の為に個人的な感情で名ばかりの指導にすぎません。

無論ミスをした乗務員にも人権があります。ミスした乗務員の立場に立つべきです。その役割が労働組合であり、一組合員を守る為に会社に物申す事が労働組合の任務ではないでしょうか？

【福田指導科長に即刻抗議！！】

組合員：非常事態の揭示があるけど何の非常事態ですか？

科 長：……（無言）。

組合員：非常事態の揭示は剥がすべきです。また、職場出入口に停止位置目標だらけの看板があるが行き過ぎた指導です。乗務員は過大プレッシャーを感じ逆効果です。お願いですから撤去して下さい。

科 長：御意見は分かりました。

組合員：これは意見でなく抗議です。

ユニオン幹部よ！ミスした組合員は 反省し悩み苦しんでいる。知らぬ顔 するのは無責任で自己保身だ！！